

# すみだ

2011.4.13

NO. 168

発行：墨田区議会事務局

130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号 ☎5608-6352

http://www.city.sumida.lg.jp/kugikai/

# 区議会だより

東日本大震災により被災されました皆様に  
対しまして、心からお見舞いを申し上げます。



左下：災害時の避難所（墨田区総合体育館）の様子

中：被災地へ救援物資を提供しました

右上：災害対策本部を設置しました

## 墨田区議会議員・区長選挙

**〔投票日〕 4月24日（日）**  
午前7時から午後8時

投票日に仕事や旅行、レジャーなどの用事があり、投票所に行くことができない方は、期日前投票（不在者投票）をご利用ください。

### 〔期間〕

4月18日（月）から23日（土）  
午前8時30分から午後8時まで

### 〔場所〕

墨田区役所庁舎	12階
墨田区総合体育館	2階
すみだ生涯学習センター本館	1階
みどりコミュニティセンター	2階
すみだ中小企業センター	4階

3月31日の本会議最終日は、東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、出席者全員で黙祷を捧げた後、区長から追加提出された「墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例」を原案どおり可決しました。また、日本共産党から追加提出された議員提出議案「墨田区国民健康保険料の負担軽減に関する条例」を起立表決の結果、否決しました。

3月14日の本会議では、冒頭に議長が東日本大震災の犠牲者の方々に對して哀悼の意を表しました。その後、議事の都合により、会期を3月31日まで17日間延長しました。

3月22日の本会議では、区長から提出された「平成23年度墨田区一般会計予算」を含む議案26件を可決したほか、「国民健康保険への財政支援に関する意見書」を含む議員提出議案2件を全会一致で可決しました。また、日本共産党から提出された議員提出議案「墨田区住宅リフォーム助成条例」を起立表決の結果、否決しました。

2月9日の本会議では、自由民主党、公明党、日本共産党の3人が会派を代表して、区長、教育長に対して代表質問を行いました。また、2月10日の本会議では1人の議員が、区長、教育長に対して一般質問を行うとともに、継続審査となっていた区長提出議案「平成22年度墨田区一般会計補正予算」を原案どおり可決しました。

2月2日の本会議では、山崎区長から平成23年度区政一般の施政方針説明がありました。

墨田区議会は、平成23年第1回定例会を2月2日から3月31日までの58日間にわたって開きました。

**平成23年度予算が成立**

総額1580億1600万円

前年度比5・0%増

**平成23年第1回定例会**

代表質問

区政を問う!

新たな防災対策と危機管理について



自由民主党 沖山 仁

問 阪神・淡路大震災から16年が経過し、1月の報道では地震災害の特集の中で地域の防災力の重要さを訴えていた。区内の住宅は近年、中高層化が進み、6階以上の中高層住宅が住宅全体の約4割を占めている。大地震が来たら、中高層マンションでは高層階特有の揺れによる家具転倒やエレベーター閉じ込めの危険性、高層難民などの発生が危惧され、住民の混乱が予想される。中高層住宅における震災対策の基本方針などを策定し、防災専門指導者を派遣するなど、防災組織づくりの強化を早急に検討すべきである。

また、都市型水害の危険性が高まる中、集中豪雨による浸水被害などを防ぐための総点検を実施し、万全な対策を講じなくてはならない。区内には海抜ゼロメートルの場所もあり、津波高潮、荒川が氾濫して洪水が発生した場合の対応など、区民にもっと周知すべきである。

答 区ではこれまでも住民からの要請に基づき、防災訓練の取組事例や避難の手順などの説明、区職員の派遣など、個別の相談に対応してきた。しかし、個別のマンションだけでの対応には限界があり、地元町会・自治会を中心とした地域全体の協力・連携のもとで、防災活動に取り組むことが極めて重要だと認識している。昨年度、すみだ防災パンフレット「揺れる中高層住宅」を作成したが、今後、高層住宅の防災対策基本指針を策定し、防災組織づくりを初めとした地域防災力の向上に努めたい。

また、集中豪雨対策として雨水ますの点検やパトロール、被害情報の収集などを行い、万全の水防対策を講じていく。20年に全戸配布した墨田区洪水ハザードマップには、区内の浸水区域、水害時避難場所などを掲載しているの、今後も広く周知したい。

●平成23年度予算編成に当たった基本姿勢について

問 経済が依然として厳しい中、民主党政権での国の予算には問題が多く、区財政への影響を懸念する。

このような中で、区の23年度予算編成についての基本姿勢と、とりわけ現下の先行き不透明な景気の中、一般会計対前年度比5・5%増の予算を立てた根拠を伺う。また、中長期的な財政運営の見通しについて伺う。

答 歳入においては、減収を補うため約34億円を財政調整基金から繰り入れたが、基金に頼らず、全庁あげて財源確保に取り組む姿勢を見せるべきである。

問 23年度予算は、山積する区政の課題に的確に対応するため、年間を通じた本格予算とした。喫緊の課題である緊急経済・雇用対策、待機児童解消策や高齢者見守り対策、学校校舎等の耐震化、東京スカイツリー関連施策など、優先性・緊急性の高い施策に積極的に取り組むこととした結果、一般会計で前年度比5・5%増となった。25年度以降は通常の予算規模程度に標準化すると見込んでいる。財源については的確な把握と収入確保に努め、活用できる補助金等を計上した。

また、集中豪雨対策として雨水ますの点検やパトロール、被害情報の収集などを行い、万全の水防対策を講じていく。20年に全戸配布した墨田区洪水ハザードマップには、区内の浸水区域、水害時避難場所などを掲載しているの、今後も広く周知したい。

●ゆとり教育からの転換、少人数学級への対応など、墨田区教育について問う

問 23年度から「脱ゆとり路線」を掲げた新学習指導要領が完全実施されるが、ゆとり教育からの方針転換に対する教育委員会の姿勢は。また、土曜授業の導入に当たり、どのよう

に学校を支援していくのか。義務教育標準法改正案の閣議決定により、少人数学級の編成が定められた。実現に当たり、財源問題、教室増設等、現場の実態に合わせた対応が求められるが、どう対応していくのか。

答 各小学校の特色ある活動を継続しつつ、各学校に対して、新たに導入される学習内容が適切に実施されるよう指導したい。土曜授業実施に当たっては、人材情報の提供等を行うとともに、各学校が互いに工夫改善に努めるよう指導していく。

問 区長が区政に携わって3期12年。この間、どのような成果があったと評価するか。

答 財政再建、東京スカイツリーの誘致等、25万人都市すみだの基盤づくりができた。



小学校1年生を35人学級にした場合でも、余裕教室等の転用で十分対応可能である。教職員の配置などさまざまな課題があるので、国会の推移等を注視しつつ、的確な対応をしていく。国体に向けて組織体制等を整え、遺漏がないよう準備する。

企画総務委員会のもよう

〔1月20日〕

議案 平成22年度墨田区一般会計補正予算(議案第67号)・・・継続審査となっていた本補正予算のうち、「(仮称)押上駅前自転車駐車場整備事業」に係る用地の取扱い等について報告があり、引き続き審査することとなった。

〔2月4日〕

議案 平成22年度墨田区一般会計補正予算(議案第67号)・・・(仮称)押上駅前自転車駐車場整備事業」に係る用地の取扱い等について、その後の状況の報告があり、採決の結果、可決すべきものと決定した。

〔3月9日〕

議案 墨田区文化観光基金条例・・・文化観光の更なる振興のため、墨田区文化観光基金を設置する等のもの・・・可決すべきものと決定した。



〔3月22日〕

議案(仮称)押上駅前自転車駐車場新築工事請負契約・・・可決すべきものと決定した。



(仮称)押上駅前自転車駐車場(イメージ図)

国民健康保険への財政支援に関する意見書

未曾有の不況と社会保障制度の見直しによる負担増、大都市東京における所得格差の拡大のもとで、都民の生活はかつてなく深刻な状況です。こうしたもとで、国民健康保険の対象となる年金生活の高齢者、非正規労働者、中小零細自営業者などは、高い保険料によって生活が苦しくなるとともに、保険料を払えず、短期証や資格証の発行を受けても、窓口負担金が払えないため治療を受けられず、病状を悪化させる事例が多発し、社会問題となっています。墨田区でも国民健康保険料の滞納世帯は昨年度末で1万6179世帯、加入世帯の33%になっています。ところが東京都は、特別区の国民健康保険財政への交付金などを削減してきました。本来、命と健康を守るべき医療保険制度が、住民の生活状況を悪化させ、社会的弱者が医療を受けられないなどということがあってはなりません。国民健康保険を社会保障としての本来の役割にたちかえらせることは緊急の課題となっています。よって、墨田区議会は東京都に対し、特別区の国民健康保険財政の健全化と保険料の引下げのため、財政支援を抜本的に拡充するよう強く要望いたします。以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出します。東京都知事 あて

議案 墨田区手数料条例の一部を改正する条例・・・区民の利便性の向上を図るため、現在東京都が行っている震災復興土地区画整理換地確定図等の写しの交付に関する事務を区においても行うことに伴い、同事務に係る手数料を定めるもの・・・可決すべきものと決定した。

議案 墨田区職員定数条例の一部を改正する条例・・・職員定数を1985人から1965人に改めるもの・・・起立表決の結果、可決すべきものと決定した。

議案 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例・・・特別区

# 東京スカイツリー関連事業を 千載一遇の機会とした雇用創出を



公明党  
甚野 博義

**問** 東京スカイツリー街区内で数千人規模の新たな直接雇用が発生すると想定される。また、間接雇用としてコミュニティバス事業者なども新たな採用を検討すると思われる。こうした事業者を東京スカイツリー関連事業者と位置付け合同就職面接会を開催してはどうか。事業者側の募集ニーズを区が集約し、区民に情報提供し、リバーサイドホールなどを会場として活用すれば、区民にとってチャンスが増えることは間違いのない。職住近接は企業側にもメリットがあり、積極的に働きかけることは大きな意味がある。より一層、東京スカイツリーの恩恵を雇用という側面で区民に還元するために最も効果的である。

**答** 東京スカイツリー街区内で数千人規模の新たな直接雇用が発生すると想定される。また、間接雇用としてコミュニティバス事業者なども新たな採用を検討すると思われる。こうした事業者を東京スカイツリー関連事業者と位置付け合同就職面接会を開催してはどうか。事業者側の募集ニーズを区が集約し、区民に情報提供し、リバーサイドホールなどを会場として活用すれば、区民にとってチャンスが増えることは間違いのない。職住近接は企業側にもメリットがあり、積極的に働きかけることは大きな意味がある。より一層、東京スカイツリーの恩恵を雇用という側面で区民に還元するために最も効果的である。

また、雇用対策を効果的に実施するためには、関係する部門が有機的に連携をとって取り組んでいくことが重要である。区の姿勢を鮮明にするということにもつながるので、雇用創出・拡大プロジェクトについては前向きに検討し、区民の雇用拡大に向けて積極的に取り組んでいきたい。

## ●区民サービスの向上のために クロスセクションの導入を

**問** 広島市では20年から、施策ごとに7つのクロスセクションを設置し、規則を定め、責任と権限を明確にして取り組んでいる。社会状況が大きく変化、複雑化し、本区においても、区民が抱える問題が多様化している。区民ニーズにあつた対応、素早い施策の展開が必要であることを考えると、今までの縦割り行政の枠組みを超え、ときには近隣区、民間企業等も入れた組織を作り、情報の共有化を図り、連携をとるべきと考えるが、区長の所見を伺う。

**答** 多様化する行政ニーズに迅速かつ的確に対応するためには、行政内部の横断的な組織連携はもとより、国や東京都、民間事業者等との情報共有や連携は欠かせないと認識している。これまでも環境変化に即応できるスリムで経営能力の高い組織づくりを進めてきたが、広島市のクロスセクションは、区民ニーズへの迅速な対応を図るうえで参考とすべき点も多いと考えるので、横断的な組織体制のあり方について検討していきたい。



## ●特定不妊治療及び一般不妊治療に対する助成制度の導入を

**問** 東京都の行う特定不妊治療助成制度に対して10区が区独自で上乘せ助成している。本区においても助成対象者は増える傾向にあり、長引く不景気により経済的にも厳しい状況でも、なんとかして未来の宝である子どもを授かりたいと思っている方が多くいると思われる。少子高齢化が進んでいる現在、本区も特定不妊治療及び一般不妊治療に対して、助成制度の導入を考慮すべきであると思うが、今後どのように取り組むのか、区長の所見を伺う。

**答** 不妊対策は少子化対策のみではなく、子を望む夫婦への支援として位置付けていくことが必要であると考える。本区の区民の健康と生命を守る施策は多岐にわたっており、その中で来年度予算では予防接種やがん対策等に重点的に取り組むこととした。したがって、本区における特定不妊治療及び一般不妊治療に対する助成制度の導入については、今後の優先的な課題として検討していきたい。

後年度の財政需要に備えるため、今後も引き続き基金の積立てを行っていきたい。



のように取り組む考えなのか。

**議案** 墨田区廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部を改正する条例…廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部改正を踏まえ、一般廃棄物処理業の許可に係る欠格要件を見直し、特に悪質な違反行為を除いて、許可の取消しが役員を兼務する他の業者の許可の取消しにつながらないよう措置を講ずるもの…可決すべきものと決定した。

**報告** 梅若橋コミュニティ会館学童クラブにおける事故の概要及び区の対応状況について…22年12月14日に発生した事故の概要と、これまでの区の対応について報告があった。

**問** 高齢者や障害者が入居している共同住宅共有部分のバリアフリー化の支援を。助成対象の範囲や助成額などの課題を整理し、実施の可能性について検討したい。

**問** 障害のある児童・生徒の導入準備を進める必要がある。担当教員による指導方法の確立も含め、総合的に研究を進めていきたい。

**議案** 幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例…特別区人事委員会の勧告等に伴い、幼稚園教育職員の給料表を改定するとともに、月60時間を超える部分に係る超過勤務手当の支給割合を引き上げるほか、義務教育等教員特別手当の支給限度額を引き下げる等のもの…起立表決の結果、可決すべきものと決定した。

**議案** 平成22年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算…歳入歳出それぞれ488万4000円を減額するもの…可決すべきものと決定した。

**議案** 平成22年度墨田区後期高齢者医療特別会計補正予算…職員給与等9425万9000円を減額するもの…可決すべきものと決定した。

**議案** 墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例…特別区国民健康保険事業の調整に関する共通基準に基づき、保険料の賦課方式を改める等のほか、所要の規定整備をするもの…起立表決の結果、可決すべきものと決定した。

**議案** 墨田区国民健康保険料の負担軽減に関する条例…国民健康保険料の賦課方式の変更等によって負担が増加する世帯に対し、当該増加分に相当する額を助成するもの…起立表決の結果、否決すべきものと決定した。

# 特別養護老人ホームの待機者など4つのゼロについて



日本共産党  
高柳 東彦

**問** 4つのゼロとは、特別養護老人ホームの待機者、保育園の待機児童、高齢者の孤独死、18歳までと75歳以上の医療費負担のゼロである。

特別養護老人ホームは旧立花小学校跡地に建設が進められているが、待機者は827人に上っており2、3箇所の増設が必要である。今後の整備計画は、

保育園の待機児童については、来年度も私立保育園の誘致等で80人を超える定員増を図るとしているが、今年4月の待機児童数をどのように見込んでいるか引き続き認可保育園の整備を進めるべきである。

孤独死ゼロに向けて、予算案の中でみまもり相談室を6箇所増やすことは評価するが、合わせて地域包括支援センターの体制を強化し、みまもり相談室と連携して地域での見守り体制を整備していくことが重要である。

子どもの医療費助成は、千代田区をはじめ18歳まで拡充する自治体が増えている。高齢者は増税や社会保障の改悪が押しつけられ、特に医療改悪と負担増はくらしを圧迫している。区としても助成制度を創設すべきである。区長の見解を問う。

**答** 現在、特別養護老人ホームの整備については、ベッド数100床規模の事業者を公募し選定を進めている。その後の施設整備は現在実施している日常生活圏域ニーズ調査等を

踏まえ、第5期介護保険事業計画の策定の中で検討したい。

本年4月の待機児童数については、認可保育園への入園申込数が現時点での見込みでほぼ横ばいであるのに対し、保育定員を約190人拡大することから待機児童数は減少するものと予測している。引き続き、私立認可保育園の誘致などに取り組み

地域包括支援センターについては、その機能のひとつである高齢者の生活実態の把握もみまもり相談室が行うことになるため、連携することにより機能の強化が図られると考える。

高校生に対する医療費助成については体力や病気に対する抵抗力が乳幼児や児童とは異なり、また就労しているケースもある。制度の趣旨からは意義が薄いのではないかと。75歳以上の高齢者の医療制度は所得に応じた負担割合であり、現時点では区として助成制度を創設する考えは持っていない。

## ●国保料の値上げをやめ、くらし応援の区政に転換を

**問** 区長は毎年、国民健康保険料を値上げしている。

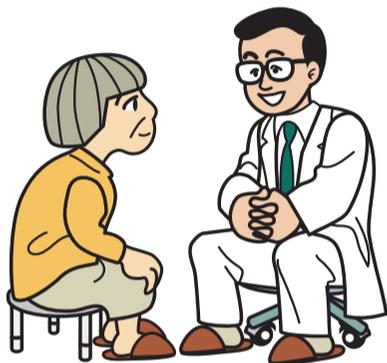
わが党は区民税の増税など区民の負担増で増収になった分は区民の負担軽減に使うことを求めているが、区長は大型開発などの財源にするため基金に積み立てている。基金を取り崩し、

区民の負担を軽減し、くらしを応援すべきである。

特に区長は所得割の計算方法を変更し、所得の低い人や扶養家族の多い人の国保料を値上げしようとしている。値上げ案は撤回し、一般会計から繰入金を増やして値下げすべきである。

**答** 23年度予算では、基本計画に示した目標の達成をはじめ、優先性・緊急性の高い施策に積極的に取り組んだ。これらの財源として基金を活用することは計画的な公共施設整備、安定的な区民サービスの提供に役立てるものである。

特別区の国民健康保険事業については、来年度から保険料所得割の算定方式の変更を予定しているが、保険料が増大する方策には所得に応じた3段階の激変緩和策を2年間実施する。一般会計からの繰入れはすでに行っており、これ以上は困難である。



## ●住宅リフォーム助成制度の実現を

**問** 産業施策のあり方についての中期ビジョンを検討する際には、地域循環型経済の構築を柱に据えるべきである。

長引く不況は建築職人など関連業種に深刻な打撃を与えている。「仕事起こしと住環境の改善」を図る住宅リフォーム助成

制度は全国180余りの自治体に広がっており、その経済波及効果は多様な職種に及び、助成額の10倍から25倍にもなると言われている。区内業者を使つてリフォームした場合に助成金を出す制度を議員提案の条例案も準備して実現を迫る。

**答** 24年度に予定している工業振興マスタープランの改定に当たり、指摘の点や産業構造、区内の就業形態の変化も踏まえて「産業振興マスタープラン」として策定したい。

住宅リフォームは仕様がさまざまであり、公益性をどこに求めるか整理する必要がある。そこで地域循環型経済を生み出す取組として、公益性も勘案し、新規事業である「民間木造賃貸住宅改修支援」を本年4月から実施する。こうした新たな施策

の展開を図り、地域経済の活性化を積極的に図っていきたい。



**問** 社会保障を切り捨てる一方で大企業への減税、消費税増税をするのは認められない。

**答** 区民生活に直結する問題であるとして認識しており、国の動向を注視していきたい。

## 用語の解説

- \*【基金】
  - …一般家庭の「貯金」に相当するもの。特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けている。
- \*【クロスセクション (CS)】
  - …広島市で行われている組織体制。重要施策に関係する複数の部署によって構成された、庁内横断的な組織のこと。
- \*【セーフティネット保証 (制度)】
  - …取引金融機関の破綻等により経営の安定に支障を生じている中小企業者を対象として、一般保証と別枠の保証限度額を適用する制度。
- \*【B-1グランプリ】 (公式ホームページhttp://b-1grandprix.com/より引用)
  - …正式名称は「B級ご当地グルメの祭典! B-1グランプリ」。安くて旨くて地元の人に愛されている地域の名物料理や郷土料理を「B級ご当地グルメ」と定義し、その日本一を決めようというイベント。
- \*【ヒブワクチン (インフルエンザ菌b型ワクチン)】
  - …ヒブ (インフルエンザ菌b型) に感染することにより発症する細菌性髄膜炎などを予防するためのワクチン。

## 産業都市委員会のもよう

【3月8日】

**議案** 墨田区木造住宅耐震改修促進助成条例の一部を改正する条例・木造住宅の耐震改修を促進するため、助成対象者を拡大するとともに、高齢者等に配慮した住宅改修と併せて耐震改修を行う場合及び主要生活道路の沿道の木造住宅において耐震改修を行う場合について、助成金の支給割合を引き上げるもの

可決すべきものと決定した。



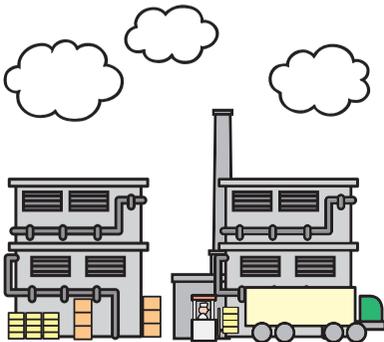
**議案** 墨田区立公園条例の一部を改正する条例・旧中川の護岸整備の完了に伴い、墨田区立旧中川水辺公園を公の施設として設置するもの

可決すべきものと決定した。

**議員提出議案** 墨田区住宅リフォーム助成条例・住宅投資の波及効果による区内経済の活性化及び既存住宅の居住環境の質の向上を図るため、住宅の増改築やリフォーム工事の助成について必要な事項を定めるもの

起立表決の結果、否決すべきものと決定した。

講じ、運転資金等の資金繰りについて、より一層の円滑化を図り、中小企業経営の安定化を支援する旨、報告があった。

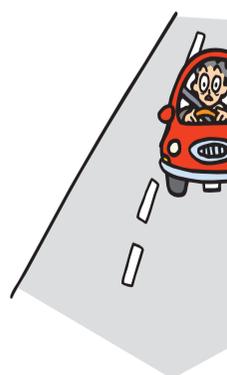


**報告** 新たな商工業融資制度について

国の景気対応緊急保証制度におけるセーフティネット保証認定の見直しにより、経営安定資金を利用できなくなる区内事業者が相当数見込まれることから、指定から外れた業種に属するもので業況の悪化している事業所を救済するため、新たな区制度融資として、「緊急運転資金」を23年度限りの期限措置として設置する旨、報告があった。

**報告** 区道愛称名の選定について

特別区道向島1001号路線及び特別区道墨24号路線の愛称名選定について報告があった。



**一般質問**  
2月10日の本会議では、1人の議員が一般質問を行いました。

平成23年度予算編成について  
問う

新しい風 田中 哲

**問** スカイツリー開業に向け、交通渋滞、ゴミのポイ捨て等のトラブルへの十分な対策が必要だが、準備は万全か。

また、区は観光誘客キャンペーンに予算をつけているが、どのような事業で街びらきを行い、すみだを盛り上げていくのか。街歩きの魅力は食べ物にある。スカイツリー周辺で、B-1グランプリを開催できないか。

区は発信力に欠ける。先進的な試みもあるが、宣伝不足のため、地味な感じを受ける。広報活動の再構築を求めたい。

多くの区民から要望されるのが、区南部での「いきいきプラザ」の建設である。是非、区長に一考を求めたい。

**答** スカイツリー開業に向け、区、事業者、町会等で検討会を設けて、対策を講じている。

観光誘客キャンペーンは、区内回遊の仕掛けづくりと情報発信の強化をコンセプトとする。

スカイツリー開業時の街びらきイベントは、区民主体の実行委員会形式としたい。B-1グランプリは地域の機運醸成と合意形成が必須で、時間を要する。

区の情報発信の方法としては、23年度は動画情報の発信を進めるほか、携帯電話サイトの有効な活用策も検討していきたい。「いきいきプラザ」の整備は、区内全域にどう配置したらよいかも含め具体的に検討したい。

**問** 校庭開放事業において、十分な事故対策の検討は、安全マニュアルを作成し、事前研修も行いたい。

会議日程 (会期58日間) 第1回定例会中に開かれた主な会議は次のとおりです。		
2月2日	本会議	会期の決定 施政方針説明
4日	企画総務委員会	付託議案の審査
8日	議会運営委員会	本会議の議事運営
9日	本会議	代表質問
10日	本会議	一般質問 議案の議決 区長提出議案の説明 議員提出議案の説明 委員会付託
	予算特別委員会	正副委員長の互選
15日 ~3月3日	予算特別委員会	付託議案の審査
4日	区民文教委員会	付託議案の審査等
7日	福祉保健委員会	付託議案の審査等
8日	産業都市委員会	付託議案の審査等
9日	企画総務委員会	付託議案の審査等
11日	議会運営委員会 行財政改革等特別委員会	本会議の議事運営 付託事項の調査
14日	本会議	会期の延長
16日	新タワー建設・観光対策特別委員会	付託事項の調査
22日	議会運営委員会 本会議 企画総務委員会	本会議の議事運営 議案の議決等 付託議案の審査
28日	都市開発・災害対策特別委員会	付託事項の調査
30日	議会運営委員会	本会議の議事運営
31日	本会議 区民文教委員会 議会運営委員会	議案の議決等 付託議案の審査 本会議の議事運営

## 特別委員会を開く

各特別委員会において、それぞれ報告があり、質疑応答が行われました。

### ■新タワー建設・観光対策特別委員会

【22年12月27日】

・東京スカイツリーを活用した新たな防災機能整備事業の概要について

・業平橋駅改修の概要について

・押上駅前交番の移設概要について

・(仮称)観光プラザ整備計画  
中間のまとめについて

・区内循環バスの運行事業者の選定について

・(仮称)業平橋押上地区開発計画(新タワー計画)の施設名称の決定および業平橋駅の駅名変更について

【3月16日】

### ■行財政改革等特別委員会

【1月14日】

・旧西吾婦小学校及び旧曳舟中学校跡地大学誘致公募要項(案)の概要について

・墨田区行財政改革実施計画の取組成果について

・(仮称)都市開発・災害対策特別委員会  
【3月28日】

・東北地方太平洋沖地震にかか  
る墨田区の災害対策について

・墨田区東武伊勢崎線(曳舟)業平橋駅間)周辺地区整備計画  
画検討委員会のまとめについて

## 議員の寄附行為の禁止について

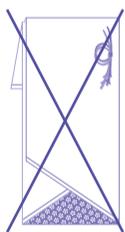
政治家や後援団体が選挙区内の人に金品を贈ることは、公職選挙法により、いかなる名目であっても禁止されており、そうした行為は原則罰則の対象となります。

ただし、会費制の場合には、その相当額の会費を支払っても寄附行為にあたらぬと考えられています。地域・区民の皆さんと適正・良好な関係を保つため、実費が伴う行事や会費が必要とされる催しを議員に案内される際には、会費等を明記していただければ幸いです。

ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 【禁止される寄附の例】

- お中元、お歳暮、お見舞い
- スポーツ大会、運動会、盆踊りなどへの差し入れ・寸志
- 町会・自治会主催行事への差し入れ・寸志
- 各種祭礼への贈答品・寸志
- 葬式・落成式・開店祝いの花輪
- 入学・卒業・就職祝い



## 録音版を発行しています

目の不自由な方に区議会の活動をお伝えするため、「区議会だより録音版」を発行しています。ご希望の方は、区議会事務局(公5608-6352)又はすみだ福祉保健センター(公5608-3711)までお問い合わせください。

## 福祉保健委員会のもよう

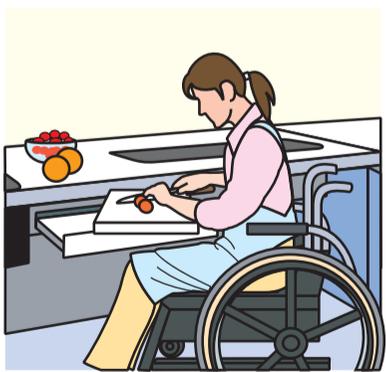
【3月7日】

**議案** 墨田区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例…女性福祉資金貸付制度の充実を図るため、技能習得資金、修学資金及び就学支度資金の貸付限度額を引き上げるもの…可決すべきものと決定した。

**議案** 墨田区福祉作業所条例の一部を改正する条例…すみだ厚生会館を、障害者自立支援法における地域活動支援センターから障害者福祉サービス事業を行う施設へと変更することに伴い、墨田区福祉作業所にすみだ厚生会館を加えるとともに、すみだ厚生会館条例を廃止するもの…可決すべきものと決定した。

**議案** 平成22年度墨田区介護保険特別会計補正予算(第1号)…居室介護等給付費6177万8千円を追加するもの…可決すべきものと決定した。

**報告** 墨田区地域福祉計画について…地域のさまざまな課題の解決に向けて、地域福祉を推進するための仕組みをつくる地域福祉計画が策定されたので、その概要について報告があった。



**報告** 民有地を活用した特別養護老人ホームの事業候補者の選定について…東墨田三丁目建設予定の特別養護老人ホームの事業候補者について報告があった。

**報告** 都市型軽費老人ホーム事業候補者の選定について…東墨田二丁目建設予定の都市型軽費老人ホームの事業候補者について報告があった。



**報告** 地域包括支援センターの通称名について…地域包括支援センターの通称名を高齢者支援総合センターとすることについて報告があった。

**報告** 保育施設の開園準備状況について…東駒形四丁目に23年4月開園予定の本所たから保育園の準備状況について報告があった。

**報告** 区民の健康づくり総合計画(後期計画)について…生涯にわたり健康に暮らせる仕組みをつくる区民の健康づくり総合計画(後期計画)が策定されたので、その概要について報告があった。

**報告** 小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチン接種の一時見合わせについて…小児用肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンを含む、ワクチン同時接種後の死亡報告と接種の一時見合わせについて報告があった。

予算特別委員会の様子  
―23年度各会計予算を審査―

2月10日に正副委員長との互選を行い、その後、2月15日から3月3日までの間、延べ9日間にわたる予算特別委員会、平成23年度墨田区一般会計予算など4件を審査しました。最終日には、自由民主党、公明党、民主党、無所属議員が「賛成」、日本共産党が「反対」の立場で意見を述べた後、起立表決が行われ、原案どおり可決すべきものと決定しました。

なお、日本共産党から「平成23年度墨田区一般会計予算の編成替えを求める動議」が提出されましたが、賛成少数で否決しました。

【予算特別委員会委員】

- ◎出羽 邦夫 千野美智子
◎大越 勝広 江木 義昭
福田はるみ 高柳 東彦
山本 亨 中村 光雄
青木いさむ 瀧澤 良仁
林 恒雄 広田 充男
沖山 仁 西 恭三郎
加納 進

平成23年度 墨田区各会計歳入歳出予算額

Table with 2 columns: 会計種別 (総額, 一般会計, 国民健康保険特別会計, 介護保険特別会計, 後期高齢者医療特別会計) and 金額 (1,580億1,600万円, 1,098億5,700万円, 290億900万円, 148億7,000万円, 42億8,000万円)

定例会で議決した議案

☑は意見の分かれた議案 (各会派等の賛否は別表参照)

可決した議案

- ◎区長提出議案 (28件)
<予算 10件>
・平成22年度墨田区一般会計補正予算 (議案第67号)
・平成22年度墨田区一般会計補正予算 (議案第21号) ☑
・平成22年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算
・平成22年度墨田区老人保健医療特別会計補正予算
・平成22年度墨田区介護保険特別会計補正予算
・平成22年度墨田区後期高齢者医療特別会計補正予算
・平成23年度墨田区一般会計予算 ☑
・平成23年度墨田区国民健康保険特別会計予算 ☑
・平成23年度墨田区介護保険特別会計予算 ☑
・平成23年度墨田区後期高齢者医療特別会計予算 ☑
<条例 17件>
・墨田区文化観光基金条例
・墨田区手数料条例の一部を改正する条例 ☑
・墨田区職員定数条例の一部を改正する条例 ☑
・外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例
・公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例
・職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
・職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例
・墨田区廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部を改正する条例
・墨田区立幼稚園設置条例の一部を改正する条例
・墨田区営運動場条例の一部を改正する条例
・幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 ☑
・墨田区木造住宅耐震改修促進助成条例の一部を改正する条例
・墨田区立公園条例の一部を改正する条例
・墨田区女性福祉資金貸付条例の一部を改正する条例
・墨田区福祉作業所条例の一部を改正する条例
・墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例 ☑
<契約 1件>
・(仮称) 押上駅前自転車駐車場新築工事請負契約

自由民主党 賛成

公明党 賛成

日本共産党 反対

「平成23年度予算に対する各会派の意見」

依然として厳しい雇用情勢の中、経済は民主党政権の限りない迷走、不安定さによる停滞感があり、中小零細企業は厳しい経営を強いられ、区民生活も変わらざるに及ぶ現状にあります。平成23年度予算の編成に当たり4つの基本的な考えが示されましたが、実現するためには全職員が一年間モチベーションを保ち、職務にまい進することが不可欠です。また、常に区民目線を意識して、区長個人や行政側の考えや手法を押し付けず、予算至上主義に陥ることのない柔軟な予算執行を望みます。

歳入における約72億円の基金の繰入れ、約64億円の起債は、憂慮すべき事態であると指摘します。歳出については、東京スカイツリー関連のまちづくり、周辺整備事業の早期完了を望みます。また、押上2号踏切の高架化が一日も早く実現するよう求めます。

我が会派の提言、指摘を斟酌し、今後の区政運営に反映させることを大いに期待します。

【別表】意見の分かれた議案に対する各会派等の賛否の状況

Table with columns: 件名, 会派名 (自民党, 公明党, 共産党, 新しい風, 民主ク, 民主党, 無所属), 議決結果

次の定例会は6月に開かれます。

会派等の所属議員

Table with columns: 略称, 会派名等, 構成議員名 (五十音順)

否決した議案

- ◎議員提出議案 (2件)
・墨田区住宅リフォーム助成条例 ☑
・墨田区国民健康保険料の負担軽減に関する条例 ☑